

活動報告
2018 年度



「今」は、過去のだれかのやさしさでできている。



公益財団法人
ふじのくに
未来財団

ふじのくに未来財団は県民のチカラ。

174個人・団体の発起人寄付

3,289,355円から生まれた

静岡県初の市民コミュニティ財団です。

ふじのくに未来 財団が結びます。



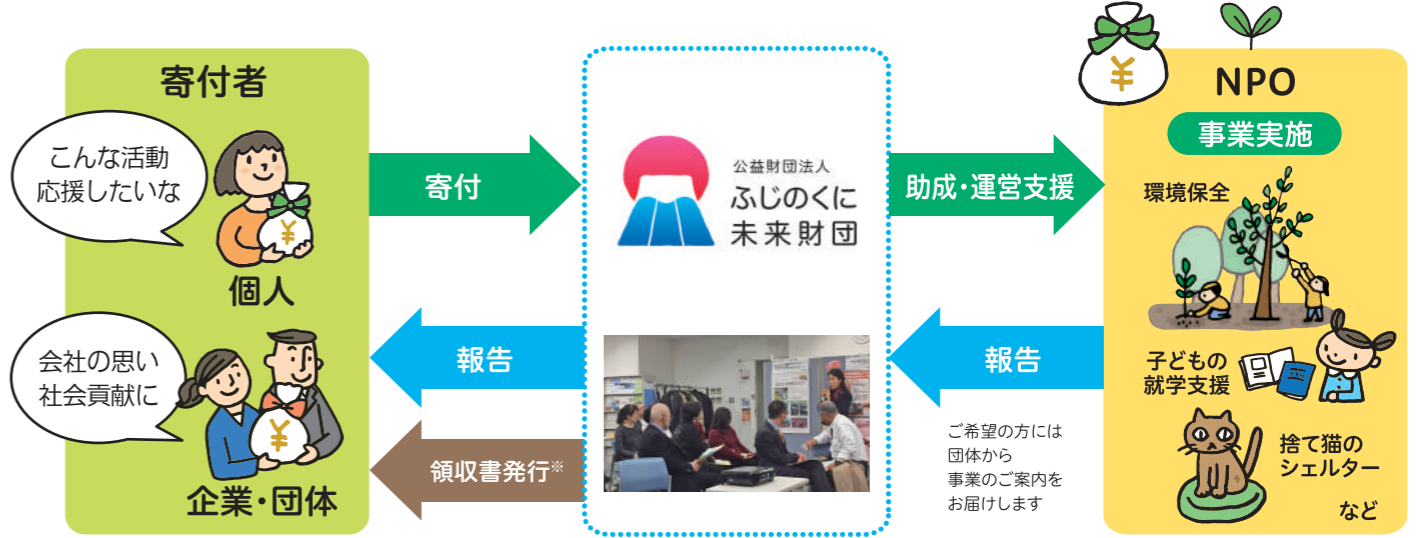
SDGs のことご存知ですか？

SDGs (Sustainable Development Goals エスディー・ジーズ) とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」です。「2030年世界はこうあってほしい」という姿から設定されている目標で、17の目標(ゴール)と169のターゲットが定められています。

この目標達成にむけて多様な主体による行動が求められており、ふじのくに未来財団もSDGsに取り組んでいます。

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

お金の流れ 心のこもったお金の流れで社会が変わります



※領収書…確定申告で税制優遇が受けられます。詳細はお問い合わせください。

表紙について

「『今』は、過去のだれかのやさしさでできている」。昨年度の「SCC しずおかコピー大賞」の「このまちの未来のために、寄付したくなるコピー」で、全国585件の中から10件のファイナリスト作品に選ばれたコピーの一つです。

表紙の写真は、遊び競技場(p9)の助成事業写真を使わせていただきました。助成事業に参加した子どもたちの喜ばせる笑顔が見られたのも地域の課題解決を目指すNPOと寄付者がいるからこそです。「現在」と「未来」をさらに良くするために、寄付というカタチでNPOと一緒に課題を解決しませんか。



代表あいさつ



代表理事
伊藤 育子

平成から令和へと時代は流れ、当財団は5期目を迎えております。皆さまには日頃から暖かなご支援をいただき、令和初の年次報告書をお届けできますことを心より感謝申し上げます。

昨年より、静岡と沼津の両ふじのくに NPO 活動センターの運営・管理を受託し、伊豆地域との絆も深まってきました。東西に長い静岡県各地で活動される NPO 等・行政・企業・個人の皆さまが様々な形で協働し、活躍できるよう NPO センターとしても応援しております。地域資源（人財、知恵、情報、資金）を上手に循環させるために、NPO センターとしての役割と、助成財団としての機能を最大限に活用していきましょうこれからも努力してまいります。

助成財団としてはまだまだ小規模ではありますが、次世代に明るい未来を残すため、地域で活躍する NPO 等の支援のため、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

組織 2019年8月現在

【評議員】

- 大坪 檀(学校法人新静岡学園)
- 鍋倉伸子(株式会社戸田書店)
- 松井 隆(公益財団法人静岡県コンテナ輸送振興協会)
- 永野英行(一般社団法人静岡県信用金庫協会)
- 海野俊也(株式会社静岡新聞社)
- 芝 知美(司法書士法人芝事務所)
- 太田勝之(静岡トヨタ自動車株式会社)
- 東松充憲(中日新聞・東京新聞 静岡総局)

【代表理事】

伊藤育子(NPO法人未来クリエート21)

【副代表理事】

都築直人(良い広告株式会社)

【専務理事】

千野和子

【理事】

- 飯倉清太(NPO法人NPOサプライズ)
- 石井将人(株式会社静岡博報堂)
- 河村浩美
- 佐藤賢司(株式会社静岡朝日テレビ)
- 塚本高士(公益社団法人静岡県看護協会)
- 宮本 聡(営業コンサルタント/ファンドレイジングアドバイザー)
- 山内秀彦(株式会社東海まちづくり研究所)
- 佐藤和枝(NPO未来化プロジェクト)

【監事】

- 加藤與志男(有限会社エイブル東海)
- 竹内 徹(静岡県庁)

スタッフ

前列 右より/

- 村上茂之(FNC東部センター長)
- 千野和子(FNCセンター長、専務理事)
- 今村昌弘

後列 右より/

- 一氏涼子
- 須田亜紀
- 篠崎留那
- 木南妙子



ふじのくに未来財団の活動にご理解いただき、ご寄付くださいました皆様

この場をお借りして、お礼申し上げます(2018年4月1日~2019年3月31日)

●賛助会員

- 利根川 初美
- 植松 誠
- 北川 浩孝
- 杉山 みえ
- 竹内 徹
- 近藤 武
- 田辺 貴一
- 伊藤 育子
- 都築 直人
- 山内 秀彦
- 宮崎 隆広
- 千野 和子
- 岡崎 美佐子
- 株式会社プランニング富士
- NPO法人里山再生クラブ
- 山田公認会計士事務所
- NPO法人小山町福祉理美容協会
- NPO法人パートナー
- 認定NPO法人フリースペース・うえるびー
- NPO法人母力向上委員会
- NPO法人精神保健福祉焼津心愛会

●冠基金

- 静岡トヨタ自動車株式会社
- 株式会社静岡朝日テレビ
- 静岡信用金庫

●テーマ指定

- ジヤトコグループゴルフ愛好家一同
- 静岡県労働金庫

●団体支援

- 佐野 容子
- 末永 和代
- 河村 浩美
- 横山 拓
- 木下 聡
- 高橋 一太
- 起進ダイヤモンド株式会社
- 株式会社袋井清掃
- NPO法人まちづくりサポーターFUJI

●協賛寄付

- 稲葉 八千代
- 河村 雅彦
- 関 敦子
- 岩田 雅子
- 建部 則子
- 佐野 祐賀
- 山口 精子
- 山川 利枝
- 篠崎 留那
- 小林 淳子
- 神山 正之
- 杉本 紀美江
- 石原 幸宗

- 船津 幸雄
- 中下 透
- 渡辺 真弓
- 富田 移津子
- 平岡 清香
- 木南 憲一
- 鈴木 麻衣子
- 株式会社ユニバンス
- 株式会社オートベル
- 株式会社静岡朝日テレビ
- 静岡県くらし・環境部
- 社会福祉法人静和会
- フィットネスデイ丸子の里はら
- 静岡県職員組合県庁支部
- 静岡県職員組合中遠支部
- 静岡県職員組合東部支部
- 静岡県立浜北西高等学校
- 静岡信用金庫
- 日産プリンス静岡販売株式会社
- 日本労働組合総連合会静岡県連合会
- 静岡県立浜松南高等学校
- 富士市民活動センター「コミュニティf」
- トヨタ部品静岡共販株式会社

●自動販売機

- 株式会社戸田書店
- 富士山こどもBASE

●財団支援

- 戸谷 雄一
- 山田 真弓
- 新川 辰彦
- 森川 尚輝
- 西元 勇人
- 村上 茂之
- 大村 麻弥
- 長橋 充雄
- 渡邊 修一
- 筒井 功
- 片桐 義晴
- 望月 洋平
- 利根川 初美
- 鈴木 将仁
- 鈴木 優子
- NGK静岡特約店会
- NPO法人アートコネクつずおか
- NPO法人ドリムアカデミー
- NPO法人泉の会
- 株式会社パートナーズ
- 公益財団法人
- かながわ生き生き市民基金
- 三栄ハイテックス株式会社
- 静岡県遊技業協同組合
- 島田掛川信用金庫(旧 島田信用金庫)
- NPO法人アートコラーレきくがわ

(匿名の方を除く・敬称略・順不同)

メディア掲載

日付	内容	媒体
4月18日	ソーシャル事業 資金調達で相談会	静岡新聞
5月17日	ふじのくに財団に市民活動の支援金 静岡トヨタ	静岡新聞
5月24日	病への気持ち 絵に乗せ表現 静岡で入院中の子どもたち	静岡新聞
5月30日	人形で詐欺電話対策始動 駿河区の丸子まちづくり協 地域一丸で被害防止	静岡新聞
5月30日	静岡・丸子地区で詐欺電話対策作戦	テレビ静岡
6月 6日	「みーちゃん大作戦」始動 電話が鳴ると注意喚起 静岡・丸子 高齢者宅で実証実験	毎日新聞
7月14日	運営費や若手不足 課題挙げ意見交換	伊豆日日新聞①
8月27日	関心高まる遺贈寄付とは 意志ある遺産の使い道 「地域に役立てて」	東京新聞
9月17日		中日新聞
11月 4日	NPO支援に30万円を寄付 島田信金	静岡新聞
12月 8日	ふじのくに財団に68万円余を寄付 県労働金庫	静岡新聞
12月22日	静岡朝日テレビ番組「明日へのチカラ」放送 静岡のチカラプロジェクト	静岡朝日テレビ②
12月28日	効果的なプレスリリース学ぶ	朝日新聞
12月31日	(師走の街角)詐欺根絶へ草の根活動	伊豆新聞
1月12日	地域活動パワーアップ講座 助成金申請のこつ学ぶ	読売新聞
1月13日		伊豆新聞
2月13日	(イブアイ)地域円卓会議 詐欺被害者のその後	静岡新聞
2月14日	(許さない!ニセ電話詐欺)県警、銀行、住民ら対策会議	静岡放送
2月15日	防げ!特殊詐欺 名簿悪用 対策考えよう	中日新聞
2月19日	おれおれ詐欺被害防ぐ 県警や金融機関など意見交換	読売新聞
2月19日	「今川さん」詐欺防止訴え 動画公開へ	静岡新聞
3月 1日	「遺贈」の現状 5日、静岡でセミナー	読売新聞
		静岡新聞



①伊豆新聞本社使用許可済み



②寄付付き自販機前での撮影風景
左端/春風亭昇太郎匠 右端/堺屋アナ

2017年度 プロジェクト1



障がい児童と一般児童の交流会の開催事業

団体名: NPO法人 ドリームアカデミー
事業費: 275,189円
助成額: 216,000円
実施期間: 2018年4月7日~12月26日

概要: 障がいを持つ児童が、一般児童や地域と繋がり交流を深めるために、ダンスと工作教室を8回開催しました。
成果: 参加者数(延べ)/障がい児89人、一般児54人。障がい児と一般児が協力し、話し合い・発表することで、お互いを理解し思いやりの気持ちが生まれました。

団体コメント: 同じ思いや感性がある一方で、全く違う思いや観点や感じ方があることを体験できる良い環境を創りだせました。



2017年度 プロジェクト2

子どもの貧困支援と更なる支援の
為の調査及び子ども食堂新聞発行事業

団体名: NPO法人 サステナブルネット
事業費: 1,548,233円
助成額: 600,000円
実施期間: 2018年3月1日~2019年3月31日

概要: 浜松市長上協働センターで計56回、子ども食堂を開催しました。「子ども食堂新聞」を5回発行すると共に参加者へのアンケート調査を行いました。
成果: 利用者数(延べ)/子ども990人、大人629人、ボランティア458人。

団体コメント: 「助けあい」の意味を利用者も理解し、活動を維持することが課題です。



2018年度 プロジェクト1

平成30年度女性のための防災減災
リーダー養成講座及び防災講演会

団体名: NPO法人 御前崎災害支援ネットワーク
事業費: 1,274,361円
助成額: 500,000円
実施期間: 2018年1月15日~11月10日

概要: 「女性のための防災・減災リーダー養成講座」を2日間開催しました。専門性の高い講師による講義と障がい者を受け入れる避難所運営の実践訓練を実施しました。
成果: 養成講座参加者85人 講演会参加者延べ350人 避難者支援38人

参加者コメント: 「新しい情報を得られ、とても勉強になりました。障がい者に触れあうことがほとんどないため、体験できたことはこれからの防災にも生かせると思います。」



2018年度 プロジェクト2

高校生の力を借りて、
障がい者と多様な人々の居場所運営

団体名: 認定NPO法人 フリースペース・うえるびー
事業費: 376,176円
助成額: 300,000円
実施期間: 2018年8月1日~2019年3月3日

概要: 障がい児者、高齢者、若者など多様な人が集う「ひだまりカフェ」を9回開催しました。静岡県立金谷高校の有志に企画・運営段階から参加してもらいました。
成果: 高齢者・障がい者・成人・高校生・子どもなど参加者延べ233人

団体コメント: 高校生からのアイデアを着物を着てイベントを行いました。高齢者が高校生に着付けをし、着物がみんなをつなぐキーワードとなりました。



継続中の事業

- 富士山の重要な植生・植物の生態と分布調査
団体名: 富士山自然誌研究会
助成決定額: 400,000円
- "農村サファリ"で"やすらぎの森"を環境教育モデル施設にバージョンアップ
団体名: NPO法人 複合力
助成決定額: 586,000円
- 松崎町石部棚田におけるホテルの新たなビオトープネットワーク創出プロジェクト
団体名: NPO法人 自然環境復元協会
助成決定額: 633,000円
- 障害児者誰もが一緒に楽しめるファミリーコンサート事業
団体名: NPO法人 富士ぶどうの会
助成決定額: 400,000円



静岡トヨタ自動車株式会社
代表取締役社長
太田 勝之 様

クルマは私達の生活において、とても大きな喜びを与えてくれた一方で、環境破壊や交通渋滞など、さまざまな社会問題に直面してきました。
当社は「環境保全」「交通安全」「福祉支援」「防災活動」をテーマに、地域の課題に取り組むNPO法人の方々と共に、地域の皆様の暮らしの一助となるべく多くの課題や問題解決に努めていきたいと考えています。

2017年度 プロジェクト1

ドラマは現場で起こっている！
～数字と物語で、社会教育の成果をあらわす試み～

団体名: 認定NPO法人 しずおか環境教育研究会 エコエデュ
事業費: 974,686円
助成額: 736,000円
実施期間: 2018年3月1日~2019年3月26日

概要: 環境教育事業の客観的な成果測定・及び評価方法設定を目標に、18回の会議(web会議を含む)を開催しました。スタッフや他分野の専門家・環境教育参加者の保護者からの「語り」を重ね分析しました。
成果: 環境教育事業を「評価」するための仮指標として、評価指標の素材となる5つの価値と総合的な価値を構築しました。今後仮指標の検証を行っていきます。

団体コメント: 評価軸となる価値を発見するために、想像以上に時間を要することがわかりました。一方、本事業の重要性を再確認し、事業を継続していく予定です。



2018年度 プロジェクト2

親支援プログラムと地域の親支援専門家を
活用した妊娠期からの切れ目のない支援

団体名: NPO法人 place of peace
事業費: 646,761円
助成額: 517,400円
実施期間: 2018年8月1日~2019年3月31日

概要: 子育てする親が妊娠期から育児期まで安心して子育てを行うことができるよう、子育て支援者講習会と、妊娠期から子育て期までの親支援プログラムを実施しました。
成果: 「子育て支援者講習会」参加者33人、「共感セッション～もうすぐ赤ちゃんがやってくる～」参加者14組、「ハッピーマタニティ講座」参加者18人、「ノーバディズ パーフェクトプログラム」参加者11組

参加者コメント: 夫婦で話し合うことは意識してやらないとなかなか実践できないので貴重な体験でした。父親同士交流し共感することができました。家族でいろいろ話し合うことが増えました。



2018年度 プロジェクト1

子ども世代から働きかける
特殊詐欺撲滅事業

団体名: NPO法人 今川さん製作委員会
事業費: 516,480円
助成額: 400,000円
実施期間: 2018年8月1日~2019年3月29日

概要: オレオレ詐欺を防止するため、子どもから高齢者まで幅広い層に愛されているゆるキャラ「今川さん」を防犯広報大使に任命し、今川さんを活用したショートムービーの制作や啓発イベントを開催しました。
成果: 制作したムービーを、静岡信用金庫様、常葉大学学園祭、静岡駅地下イベント広場、青葉公園で上映、啓発チラシやノベルティグッズを不特定多数の多くの方に配布することができました。

団体コメント: ムービーは一度作ってしまえば継続的に活用することができるので、非常に有効でした。今後も放映の場を拡大していきたいです。



継続中の事業

- 学生と乳児親子の世代間交流推進事業
団体名: NPO法人 子育てサークルネットしずおか
助成決定額: 158,000円
- 災害時要援護者を対象とした防災教育プログラムの開発・実施
団体名: 静岡ラーニング・ラボ
助成決定額: 250,000円



静岡信用金庫
理事長
佐藤 徳則 様

当金庫は、2018年度に「せいしんSDGs宣言」を行い、地域社会の課題解決に向けた活動をより一層強化しております。ふじのくに未来財団様への寄付金による「せいしん地域のちから基金」は、これまで環境保全や子育て支援など有益な取組みの一助として活用いただきました。今後も、この基金が有効活用され、より暮らしやすい地域社会の創造につながることを願っております。

2017年度 プロジェクト1

災害時要援護者を対象とした
地域防災事業

団体名: 静岡ラーニング・ラボ
事業費: 359,748円
助成額: 250,000円
実施期間: 2018年3月1日～2019年3月31日

概要: 低学年向け・特別支援学校向けに紙芝居やダンスを含む防災講座パッケージの開発と実践をおこないました。幼時から大人、障がい者、留学生など様々な方へ、出前授業(19回)や防災講座(7回)をおこないました。

成果: 幼児・小学生525人、中学生155人、高校生40人、支援学校生徒80人、大学生15人、知的障がいのある社会人90人、韓国人留学生30人

参加者コメント: 日本の災害やリスクについて知る貴重な機会でした(韓国人留学生)。生徒が内容を理解しやすく、体を守る行動ができるようになりました(支援学校)。



2018年度 プロジェクト1

病と闘う子どもたち × 次世代を担う学生 ×
静岡のアーティスト
アートで紡ぐ楽しい時間創造プロジェクト

団体名: NPO法人 アートコネクトしずおか
事業費: 381,400円
助成決定額: 380,000円
実施期間: 2018年11月1日～2019年3月31日

概要: 長期入院している子どもたちを対象に演劇と音のワークショップや、絵画ワークショップを開催しました。
成果: 大好評で、笑顔があふれていました。

団体コメント: 事業を一つでも多くの病院で継続できるように県内外の企業に積極的にアプローチし、協働に取り組めます。



プロジェクト1

子どもあそび場

団体名: 遊び競技場
事業費: 239,638円
助成額: 191,710円
実施期間: 2018年6月18日～2018年9月24日

概要: 子どもたちの夏休みの居場所として8月上旬に1週間、下旬に1週間で「まちなかアウトドア」を開催しました。子ども同士の育ちあいを大切に、自主性やコミュニケーション能力を育てることができるよう、①学ぶ場②つくる場③いろいろ場④きかく場⑤わかりあう場、の5つの場を設定しました。

成果: 参加者数(延べ)48人、学生ボランティア10人、その他協力25人

団体コメント: 他の子どもや学生さんたちの真似をする事がはじめての一歩となり、いろんな事に挑戦することができました。主体的に行動し考え、とても生き生きと過ごしていました。



プロジェクト2

夏休み体験学習

団体名: ペアレンツスクール
事業費: 95,881円
助成額: 50,000円
実施期間: 2018年8月1日～2018年8月31日

概要: 夏休み中の4日間、静岡市内の生涯学習交流館にて、小学生を対象に様々な遊びや調理体験、ダンス教室を開催しました。日記や宿題の時間も設け子どもたちが協力しながら取り組めるよう最終日にダンス発表を行いました。学童に求められる「安心感・満足感を保障する場」を創造することができました。

保護者コメント: 運営がとても素晴らしく、子ども達の良いところを沢山見つけてくださって、とてもうれしかったです。また参加したいです。



2018年度 プロジェクト2

うちっちぞ〜か☆エコアクション2018

団体名: うちっちぞ〜か☆エコアクション2018実行委員会
事業費: 109,706円
助成額: 87,764円
実施期間: 2018年8月20日～2018年11月30日

概要: 大学生、若年齢層を中心とする一般市民の環境意識の高揚と具体的取組の推進のため、三保海岸と麻機遊水地の一斉清掃活動を行いました。

成果: 学生54人、一般参加34人、2箇所合計で45ℓのごみ袋に53袋のごみを回収しました。

団体コメント: 来年度も参加したいという参加者が86%いました。「若者が頑張ってるから私たち」という方もいて、若者・一般市民双方の環境意識の向上につながりました。

シーラック世界遺産富士山を未来へ
プロジェクト基金

助成決定総額 800,000 円 (2017年度)

2017年度 プロジェクト1

「枯れ松葉は私たちの宝物」整備活動から
出る枯れ松葉を活用した循環型社会を実現
するためのプロジェクト
～富士山世界文化遺産三保松原を後世に～

団体名: NPO法人 三保の松原・羽衣村
事業費: 1,012,630円
助成額: 800,000円
実施期間: 2018年3月1日～2019年3月31日

概要: 松原の保全活動で排出される枯れ松葉の有効利用のため、ペレットに変えるペレタイザーを導入し、試行を重ねました。

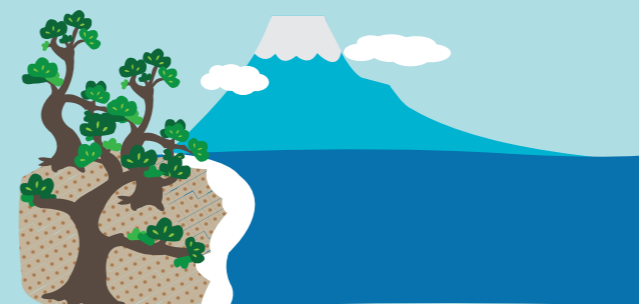
成果: ペレタイザーを2基設置しペレットを製造。燃料以外にも肥料、雑草抑制に使用できる可能性を見つけました。

団体コメント: 製造コストがかなりすぎて、燃料として販売するのは課題が残りました。今後、利用方法を模索していきたいです。



シーラック株式会社
代表取締役
望月 洋平 様

弊社では、「世界遺産富士山を未来へプロジェクト」を通じて、微力ではありますが、美しい富士山を未来永劫残す為の活動に支援を続けて参ります。私共社員の多くが、ふじのくに静岡で生まれ育っております。美しく、すばらしい富士山の魅力、資源豊富なふじのくに静岡の魅力の世界中の方達へ伝えられるよう、引き続き、仕事を通じてお役に立てればと思っております。



プロジェクト3

全ての子ども達が安心して
暮らせる社会に!
～ノーマライゼーション社会を目指して～

団体名: cocore(ココワ)
事業費: 614,539円
助成額: 491,200円
実施期間: 2019年2月10日～2019年4月30日

概要: 4月2日の世界自閉症啓発デーを含む1週間、子連れの家族が多く集まるショッピングモール「マークイズ静岡」で、子ども達やその親が楽しみながら障がいに対する理解を深められるイベント「blue blue blue 4.2」を開催しました。
成果: 参加者数12,000人

参加者コメント: 自閉症の世界体験は、ずしんと腹に響き、どれほどのストレスを抱えているのだろうとしばらく立ち直れないくらいでした。それでも会場には素敵なアート作品が溢れ、笑顔が溢れていて、「みんなちがってみんないい」という言葉が自分の中にストンと収まりました。



継続中の事業

●「誰一人取り残さない」中高生向けSDGsプログラムの開発事業
団体名: NPO法人しずおか共育ネット
助成決定額: 346,000 円

プロジェクト1

袋井市 地域防災力向上事業

団体名:NPO法人 静岡県災害支援隊
事業費:640,064円
助成額:459,000円
実施期間:2018年7月18日~2018年10月15日

概要:震災発生時に大きな課題となるトイレの問題を少しでも解決すべく、袋井市の全自治会連合会、自治会、社会福祉協議会へ防災用携帯トイレを寄贈し配布しました。
成果:携帯トイレ2,485台を配布しました。それに伴い防災訓練説明会・防災研修会において携帯トイレの必要性を説明しました。

参加者コメント:自治会長や防災隊長はほとんどが男性であるため、女性や高齢者、子ども目線でのトイレの話は良かったようです。



プロジェクト2

特殊詐欺被害をなくす官企民連携「みーちゃんによるオレオレバスターズ」

団体名:NPO法人 丸子まちづくり協議会
事業費:200,093円
助成額:200,000円(コレクティブインパクトプロジェクトの一環として実施)

実施期間:2018年6月1日~2019年3月24日
概要:特殊詐欺被害防止用人形「あんしんみーちゃん」を活用した啓蒙活動を行いました。
成果:42家庭で「あんしんみーちゃん」を試行しました。

団体コメント:みーちゃんの設定希望者・購入希望者が少なく、「私は大丈夫」という心理状態を突き崩し、対策を実行してみようという動機付けは難しいことを実感しました。



プロジェクト3

新規開設の子育て支援ひろば「ここみの森」における子どもの意欲と想像力を育む環境づくり

団体名:浜松の未来を育てる会
事業費:3,384,978円
助成額:90,000円
実施期間:2018年10月1日~2019年3月31日

概要:浜松市委託子育て支援ひろば「ここみの森」を新規開設し、妊婦や親子をサポートします。
成果:おもちゃの購入に助成金を使用しました。「子どもの遊びとおもちゃの話」講座を開催しました。

団体コメント:子どもの成長発達、親と子の関係性を育むおもちゃを豊富に用意してある全国でも数少ない施設として、たくさんの親子におもちゃに親しんでもらいたいです。



寄付月間 団体支援キャンペーン

毎年12月の「寄付月間」に賛同し、地域課題解決に取り組む団体が掲げるプロジェクトの寄付集めを応援するキャンペーンを実施しました。たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。

- プロ野球静岡県人会 AEDチャレンジ
プロ野球静岡県人会
- 親・家族と暮らせない子どもたちに贈る磐田サンタプロジェクト
子育て支援サークルほっと
- 困った方の「助けて!」を受け止める新しい相談窓口の全国展開
NPO法人 POPOLO

財団支援

「コレクティブインパクト手法で取り組むモデルプロジェクト100事例創出事業」(日本財団助成、全国コミュニティ財団協会委託事業)



オレオレ詐欺問題を川の流りに例えると、根本の上流に核家族化と高齢者の孤立、中流に「自分は大丈夫」という他人意識や個人情報の壁があり、そこをすり抜けて被害に遭い下流に流れると、現状では被害者をサポートする仕組みがほぼありません。
今回はその「下流」で絶望に陥る多くの被害者を一本の電話で支えてきた自殺防止の証言をもとに、課題解決へのアクションを考えました。2/13に「地域円卓会議 in 静岡~オレオレ詐欺被害を防ぐ新しい方法づくり-II」を開きました。

中日新聞 2019年2月14日掲載 (中日新聞社の承諾を得て転載)

さまざまな寄付のカタチ

ネンイチ 2018

年に一度の交流の場にご参加いただきました。助成事業の発表をしたり、チャリティラッフルゲーム(寄付付き福引)を開催したりと、大いに盛り上がりました。今後も多様な立場の方々との交流の場を設けていきたいと思っております。



書き損じハガキ・切手

余った年賀状やハガキ・書き損じハガキ、未使用の切手を送っていただき、換金して寄付とさせていただきます。(2018年度実績 519枚 20,441円)



遺贈

遺産を特定の人や団体に贈与することを「遺贈」といいます。ふじのくに未来財団へ遺贈していただくことで、生涯で築かれた財産を静岡の未来に役立てることができます。遺贈に関するご相談から執行まで、専門家と共にサポートします。

- リーフレット4,000部増刷、終活セミナー等で配布、司法書士等専門家事務所や市民活動センター等に配架
- 遺贈セミナー(3/5) 参加者20人
『平成29年度下半期における相続に関する相談状況』からみえる遺贈の現状
「金融機関から見た遺贈の傾向」
- 遺贈相談窓口実績
相談件数 9件
遺言書作成 1件(累計4件)



「change!」発行

社会貢献情報誌「Change!」を創刊しました。創刊号では、「スポーツ×チャリティ」をテーマに清水エスパルスの選手・ファン参加型チャリティー「エスパルス福祉基金」についてや「寄付月間」について紹介しました。

情報誌はふじのくにNPO活動センターでご覧いただけます。



お宝エイド

ご家庭で使わなくなった貴金属、切手、ハガキ・年賀状、ブランド品・時計などの「お宝」をふじのくに未来財団に寄付できるプログラムのことです。
送っていただいた「お宝」はお宝エイド受付センターに到着後、査定され、通常査定額に10%(一部品物を除く)上乗せされた金額がふじのくに未来財団に寄付されます。(2018年度実績 1件 2,475円)

ぼぼん

家庭で眠っている本やCD、DVD、ゲームを寄付すると未来財団を通じて県内のNPO活動に助成・支援される仕組みです。(2018年度実績 53件 90,033円)



人材育成 セミナー・研修

CSR検定

これからの企業経営に必要なCSR(企業の社会的責任/企業の社会的対応力)を体系的に学んで身につける「新CSR検定(株式会社オルタナ主催)」の静岡会場事務局として、検定や勉強会を行っています。

- ① 4/22 3級受験者 4名 2級受験者 1名
- ② 10/21 3級受験者 4名

非営利組織のための資金調達セミナー

非営利組織の信頼性を可視化する「組織評価」が注目を集めています。非営利組織評価センター(JCNE)による第三者組織評価・認証制度とともに、資金・寄付集めに自信がつく、ファンドレイジングのスキルを1/12に学びました。

参加者 21名



連携・協働

ふじのくにソーシャルビジネス支援ネットワーク

静岡県信用保証協会、静岡県、静岡信用金庫、日本政策金融公庫と当財団の地域支援機関5者が連携し、主に創業期から成長期にあるソーシャルビジネスに取り組む方を支援するネットワークです。社会起業家向けの「資金調達相談会」を年6回、様々な悩みにワンストップで応えられる体制づくりに努めているほか、年3回連絡会を開催しています。 ●相談 4件

講師・委員

- 焼津市市民公益活動事業補助金審査員
- 藤枝市まちづくり総合事業補助金選考委員
- 掛川市協働まちづくり発表会コメンテーター
- 沼津市民間支援まちづくりファンドアドバイザー
- 子どものための日本語学習支援基金運営委員
- 南海トラフ等巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員

加盟団体

- 全国コミュニティ財団協会
- 全国レガシーギフト協会
- 全国NPO事務支援カンファレンス
- NPO法人会計基準協議会
- しずおか防犯まちづくり県民会議



2018年度を振り返って

2018→
2019



④



⑤



⑦



⑧

- ・FRJ2018 ファンドレイジング日本 参加報告会
- ・ふじのくにソーシャルビジネス支援ネットワーク 資金相談会
- ・エクセル会計講座 in 番町市民活動センター
- ・【新】CSR 検定 3・2 級検定 in 静岡

- ・ソーシャルビジネス支援ネットワーク 資金相談会
- ・中間支援スタッフ研修～ NPO 事業の評価とは～ (FNC 事業)
- ・第 2 回中間支援スタッフネットワーク交流会 (FNC 事業)
- ・NPO 法人 1 年生講座 & 出張 NPO ミニ相談会 in 函南 (FNC 東部事業)

- ・出張 NPO 会計相談会@御前崎 (FNC 事業)
- ・NPO 会計講座&NPO ミニ相談会 in 伊豆の国市 (FNC 東部事業)
- ・ソーシャルビジネス支援ネットワーク資金相談会
- ・NPO なんでも相談会 in 伊豆市 (FNC 東部事業)
- ・NPO 何でも相談会 in 函南 (FNC 東部事業)

- ・「NPO なんでも相談会」in 牧之原市 (FNC 事業)
- ・NPO 会計講座 in 島田市 (FNC 事業)
- ・沼津ソーシャルデザイン塾「まちづくりと介護保険の協働」
- ・「NPO なんでも相談会」in 川根本町 (FNC 事業)
- ・ソーシャルビジネス資金相談会 in 静岡
- ・【新】CSR 検定 3 級第 8 回試験@静岡
- ・中間支援スタッフ研修～ NPO の労務とは?～ (FNC 事業)④
- ・島田信用金庫様寄付贈呈式⑤

- ・NPO・市民活動団体のための助成金活用講座 in 函南町 (FNC 東部事業)
- ・静岡県労働金庫様寄付贈呈式⑦
- ・沼津ソーシャルデザイン塾「助け合いの移動手段」
- ・ソーシャルビジネス資金相談会 in 静岡
- ・静岡朝日テレビ「春風亭昇太のふじのくに明日へのチカラ」放映

- ・NPO 事務道場「NPO ゲーム」作者直伝! 会計実務編 (FNC 事業)
- ・第 2 回助成事業選考委員会
- ・静岡県遊技業協同組合寄付贈呈式⑧
- ・地域円卓会議 in 静岡～オレオレ詐欺を防ぐ新しい方法づくり・II～
- ・NPO・市民活動団体のための逆引き会計講座 in 下田市 (FNC 東部事業)
- ・静岡県ハイスクールボランティアアワード活動発表・表彰式 (FNC 事業)
- ・基礎から分かる! NPO 会計講座@袋井 (FNC 事業)
- ・NPO 会計相談会 in 伊豆の国市 (FNC 東部事業)
- ・中間支援スタッフ研修～沖縄円卓会議から学ぶ協働コーディネート～ (FNC 事業)
- ・ソーシャルビジネスお悩み相談会 in 静岡

4月 ----- 5月 ----- 6月 ----- 7月 ----- 8月 ----- 9月 ----- 10月 ----- 11月 ----- 12月 ----- 1月 ----- 2月 ----- 3月

- ・NPO 出張相談 in 南伊豆町 (FNC 東部事業)
- ・静岡トヨタ自動車株式会社寄付贈呈式①
- ・NPO 法人認定講座 (FNC 事業)
- ・第 1 回中間支援スタッフネットワーク交流会 (FNC 事業)

- ・第 1 回伊豆地域の市民活動について考えるワークショップ (FNC 東部事業)
- ・ふじのくに CSR 連続講座「CSR で経営力を強化する!」～企業&NPO の生存戦略を考える～ (FNC 事業)
- ・第 1 回助成事業選考委員会②

- ・資金調達講座 (FNC 東部事業)
- ・中間支援スタッフ研修～地縁組織への支援力向上～ (FNC 事業)③

- ・沼津ソーシャルデザイン塾「西伊豆しおかつおの生きる道」
- ・第 2 回伊豆地域の市民活動について考えるワークショップ (FNC 東部事業)
- ・沼津ソーシャルデザイン塾「お茶を活かした体験・滞在型観光」
- ・ネンイチ 2018⑥

- ・非営利組織のための資金調達セミナー
- ・沼津ソーシャルデザイン塾「沼津の未来をデザインしてみよう」
- ・プレスリリース基礎講座 in 東伊豆町 (FNC 東部事業)

- ・遺贈セミナー想いをカタチに
- ・静岡信用金庫寄付贈呈式⑨
- ・助成事業採択通知書交付式⑩



①



②



③



⑥



⑥



⑨



⑩

ふじのくにNPO活動センター・ ふじのくに東部NPO活動センター運営業務



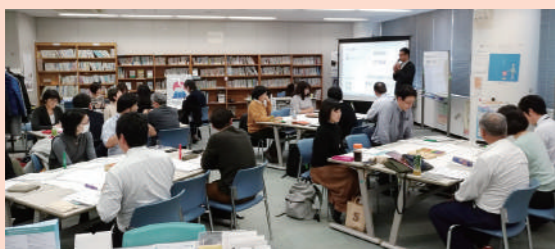
ふじのくにNPO活動センターとは

NPOの自立と活動の充実を促進し、県民や企業など多様な主体による協働に支えられる豊かな地域づくりを目指して静岡県が設置し、ふじのくに未来財団が運営しています。

中間支援人材の育成

市町NPO活動センターや県内で中間支援業務などに携わるスタッフを対象に集合研修(①~④)やOJT型研修を実施しました。

- ①NPOの労務とは(沼津市、浜松市)
- ②沖縄円卓会議から学ぶ協働コーディネート
- ③NPO事業の評価とは?
- ④中間支援組織の地縁組織への支援力向上



高校生ボランティアアワード

第2回となる静岡県ハイスクールボランティアアワードの活動発表・表彰式を、ふじのくに地域・大学フォーラム内で行いました。

高校生の自発的な社会貢献活動を賞し、プレゼン賞6団体、ポスター賞3団体を表彰しました。



伊豆地域の市民活動について考えるワークショップ

伊豆地域で市民活動に取り組むNPOや一般法人、行政等と共に、伊豆地域の市民活動の課題、必要とする支援、活性化に向けた今後の取組について、ワークショップ形式での意見交換を行いました(下田会場・伊豆の国会場、各2回)。



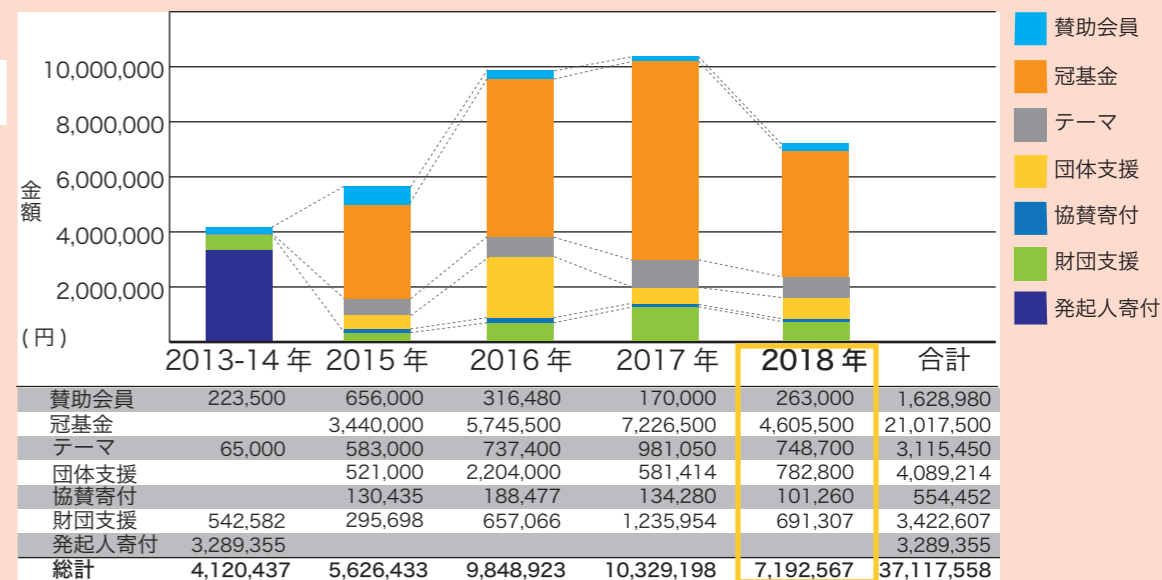
NPO活動の支援

NPOや行政、一般等からの相談・問合せ件数は1年間で878件。市民活動センターが未設置地域のNPOに対しては出張相談会、会計講座などの支援を実施しました。認定取得を目指すNPO法人には、認定取得の際に必要な環境整備や書類作成などのサポートをしました。



会計報告

寄付金の内訳と推移



(単位:円)

貸借対照表

平成31年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	3,253,080	未払金	2,864,630
未収金	1,502,660	預り金	724,843
前払費用	46,000	未払消費税	917,500
流動資産合計	4,801,740		
2. 固定資産		負債合計	4,506,973
基本財産合計	3,000,000	III 正味財産の部	
特定資産合計	5,916,507	1. 指定正味財産	8,916,507
その他資産合計	248,000	2. 一般正味財産	542,767
固定資産合計	9,164,507	正味財産合計	9,459,274
資産合計	13,966,247	負債及び正味財産合計	13,966,247

正味財産増減計算書

平成30年4月1日~
平成31年3月31日

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	263,000	170,000	93,000
事業収益	34,974,092	20,555,794	14,418,298
受取寄附金	7,631,684	8,690,375	-1,058,691
雑収益	135,019	202,805	-67,786
経常収益計	43,003,795	29,618,974	13,384,821
(2) 経常費用			
事業費	42,662,819	29,409,930	13,252,889
管理費	598,676	640,904	-42,228
経常費用合計	43,261,495	30,050,834	13,210,661
当期経常増減額	-257,700	-431,860	174,160
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期損益修正益	0	112,038	-112,038
過年度支払助成金返還額	0	309,830	-309,830
経常外収益計	0	421,868	-421,868
(2) 経常外費用			
受取寄附金振替戻入額	0	309,830	-309,830
経常外費用計	0	309,830	-309,830
当期経常外増減額	0	112,038	-112,038
当期一般正味財産増減額	-257,700	-319,822	62,122
一般正味財産期首残高	800,467	1,120,289	-319,822
一般正味財産期末残高	542,767	800,467	-257,700
II 指定正味財産の部			
当期指定正味財産増減額	-702,117	1,778,653	-2,480,770
指定正味財産期首残高	9,618,624	7,839,971	1,778,653
指定正味財産期末残高	8,916,507	9,618,624	-702,117
III 正味財産期末残高			
	9,459,274	10,419,091	-959,817

※正式な活動、会計報告は、公式HPの「情報公開」ページでご覧いただくことができます。

Join us!

「地域社会のために何かしたい」という
あなたの想い、カタチにしませんか？



賛助会員のお願い

ふじのくに未来財団が

静岡県の地域課題解決に貢献し続けられますよう、
組織基盤強化への応援をお願いします。

●賛助会費の用途

全額、当財団の運営経費として活用させていただきます。

●年会費

個人 3,000 円 団体 10,000 円

●当財団の賛助会費は税制優遇の対象となります。

●特典

- ・社会貢献情報や財団の事業・報告書などの情報をお送りします。
- ・ご希望に応じ、社会貢献をはじめ NPO 活動や事務などの個別相談の機会をご提供します。

【お申し込み方法】

①ゆうちょ銀行振込取扱票 ②銀行振込 ③現金

※銀行振込・現金の場合は、賛助会員申込書に必要事項をご記入の上、メールまたは FAX でお送りください。「賛助会員申込書」は当財団のウェブサイトからダウンロードしていただけます。

【振込先口座番号】

口座名義：公益財団法人ふじのくに未来財団

フリガナ：ザイ) フジノクニミライザイダン

★ゆうちょ銀行 二三八支店 普通 5107026
(ゆうちょ銀行からは 記号 12300 番号 51070261)

★静岡信用金庫 本店営業部 普通 0274793

★静岡銀行 駅南支店 普通 0915832

テーマや基金名を自由に設定

冠基金 (100 万円以上)

応援したい地域課題がある

テーマ指定寄付

応援したい団体がある

団体指定寄付

遺産を静岡の未来に

遺贈寄付

お香典・お花料
で寄付する

詳しくはウェブサイト
「寄付」のページへ



お気軽にお問い合わせください

TEL 054-665-8005



公益財団法人

ふじのくに未来財団

Fujinokuni Future Foundation

〒422-8076 静岡市駿河区八幡一丁目 2-21 KK ビル 101

TEL 054-665-8005

FAX 054-333-5481

Mail info@shizuokafund.org

ホームページ <http://www.shizuokafund.org>

2019 年 9 月 発行



ホームページ

【運営受託】

ふじのくに NPO 活動センター (静岡県)

〒422-8067 静岡市駿河区南町 14 番 1 号

水の森ビル 2 階

TEL 054-260-7601 FAX 054-260-7603



ふじのくに東部 NPO 活動センター (静岡県)

〒410-0801 沼津市大手町 1 丁目 1-3

沼津商連会館ビル 3 階

TEL 055-951-8500 FAX 055-952-1433



Mail fnc@shizuokafund.org

www.facebook.com/fnc.shizuoka



Facebook ページ